



自衛隊栃木地方協力本部

横須賀基地で護衛艦を見学



参加者からは「初めての
ことばかりで護衛艦の中
にも入ることができ、貴
重な体験だった」等の感
想が聞かれた。
栃木地本は「海上自衛
隊への理解と関心を持っ
てもらえるよう、今後も
同様の見学を積極的に計
画していく」とコメント。

当日は総監部で概要説明を受けた後、まず曳船体験航海に出発した。約30分の航海では海上に停泊している護衛艦等を間近に見ることができ、参加者はそれぞれの艦の説明を受けていた。午後には護衛艦「むらさめ」を見学した。「むらさめ」では艦長と対面し、艦長席に座って双眼鏡を覗くなど艦長気分を味わっていた。見学後の若手自衛官との懇談では、女性自衛官が入隊から現在に至るまでの流れや、日々の生活について紹介し、「入隊前は心配なこともあったが、大丈夫だった」という自らの経験を語った。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は7月27日、栃木県内の女性募集対象者4名を海上自衛隊横須賀基地の基地見学に案内した。海なし県の栃木県には海上自衛隊の基地がないため、本見学を通じて海上自衛隊への理解と関心を深めることを目的としている。



高校生が松島基地を見学



栃木地本は「航空自衛隊への理解と関心を持ってもらえるよう、今後も同様の見学を積極的に計画していく」としている。



トの動作がテキパキしていかつこい」といった声が聞かれ、間近で見る迫力に驚いた様子だった。また、格納庫や厚生施設、管制塔も見学し、「基地内がとても広くて整っている」「女性もいきいきと働いている」等の感想があった。

当日はまず、ブルーインパルス及びF-2戦闘機の離着陸を見学した。東京オリンピック開会式直前にブルーインパルスが展示飛行した数日後のタイミングだったこともあり、参加者からは「近くで見られて嬉しい」「離陸までのスピードが速い」「機体がきれいに一列に並んでいる」「パイロットの動作がテキパキしていかつこい」といった声が聞かれ、間近で見る迫力に驚いた様子だった。また、格納庫や厚生施設、管制塔も見学し、「基地内がとても広くて整っている」「女性もいきいきと働いている」等の感想があった。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は7月29日、栃木県内の高校生4名を航空自衛隊松島基地の基地見学に案内した。栃木県には航空自衛隊の基地がないため、本見学を通じて航空自衛隊への理解と関心を深めることを目的としている。



高工校生徒が栃木地本を訪問



当日は本部応接室にて、学校での生活や授業内容、新型コロナウイルス感染症防止対策等について本部長と懇談した。本部長は「在校中の3年間で、高等工科大学でしか学ぶことのできない貴重な経験をすることでしよう。辛いこともあると思うが頑張ってください」と激励した。生徒からは「これからも多くのことを学びたい」「目標に向かって努力していきたい」等の声が聞かれた。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は8月5日、高等工科大学から栃木県内に帰郷している生徒6名の訪問を受けた。これは栃木地本から入校した生徒が夏休みの帰省に合わせて、担当広報官と共に地本本部で近況報告等を行ったものである。

栃木地本は「今後も入隊・入隊後の隊員の声を参考にして募集活動等に役立ていく」としている。